

# 平成 30 年度の事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 会津みしま自然エネルギー研究会

## 1. 事業の成果

今年度の事業実績は、再生可能エネルギーに関する事業、発電方法等の研究に関する事業及び子どもの体験教育等に関する事業が中心となった。

再生可能エネルギー活用普及の一環として、木質バイオマスを利用するロケットストーブの展示会及び製作会は恒例となり、来訪者の興味関心を呼んだ。今後もその改良・利活用に努めたい。

発電方法等の研究に関する事業においては、流量調査も 6 年を経過し調査河川の流況も次第に明らかになりつつある。前年度より継続の独立電源の太陽光・小水力ハイブリッド発電街路灯の設置運用試験（筑波大学の研究者との共同研究）は継続され、大量のデータが収集され終了した。その解析は今後のものとなるが、街路灯そのものは地域住民に好意的に受け入れられ、地域の資源として活用される。これは、既存の電力網に束縛されないエネルギー自給と省エネルギーの一つのモデルとなる。

子どもの体験教育等に関する事業では、地元にある水力発電所の見学を行い、再生可能エネルギー活用の啓発活動となった。通常は見ることでできない水車・発電機や、ダム管理状況を電力会社の専門家の解説を聴くことができた。

再生可能エネルギー利用に関しては社会的関心も高まりつつあるが、小水力発電に関しては系統連系等の問題が依然未解決である。本研究会としては、身近な生活を土台とした事業や、子ども達の啓発活動を通じた地域活動を続けたい。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の 金額（単位：千円）
再生可能エネルギーに関する事業	三島町工人まつりに合わせたロケットストーブ製作実演	(A) 6 月 9 日・10 日 (B) 三島町内 (C) 3 人	(D) 三島町民及び来訪者 (E) 200 人	5
	ロケットストーブ製作講習会	(A) 10 月 13 日 (B) 生活工芸館庭 (C) 3 人	(D) 三島町民及び一般観光客 (E) 50 人	
	三島町文化祭参加（発電装置及びロケットストーブ展示）	(A) 11 月 3 日 (B) 三島町民センター (C) 4 人	(D) 三島町民及び来訪者 (E) 50 人	

発電方法等の研究に関する事業	河川流水量調査	(A) 通年（毎週 1 回） (B) 赤谷川 (C) 2 人	(D) 三島町民 (E) 20 人	7
	ハイブリッド街路灯設置共同研究	(A) 通年随時 (B) 大谷地区 (C) 3 人	(D) 三島町民 (E) 80 人	
子どもの体験教育等に関する事業	宮下発電所見学	(A) 8 月 19 日 (B) 三島町 (C) 6 人	(D) 三島小学校児童及び保護者 (E) 21 人	3